

【公募内容】

- ドローンのレベル3. 5 飛行での国土交通省所管施設の巡視・点検を目的として以下の技術を募集
 - ①映像を通信装置で伝送／画像を撮影しデータを記録しながら指定した飛行コース・確認ポイントについて、自動自律飛行を行う。（対象とする巡視を一フライトで実施可能なものと考えているが、意見交換会時にフライト回数・時間等提案を受け詳細事項を決定するものとする。）
- 採用テストは、長島ダム（静岡県榛原郡川根本町）、越美砂防施設（岐阜県揖斐郡揖斐川町）
- 採用テストの日程、条件は個別に調整する。（採用テストは3回～4回程度実施予定）
- 要件を満たした企業において、採用テストを実施
 - ※採用テストの飛行に必要な飛行許可・承認申請、飛行計画の通報、飛行日誌の作成等、航空法で定められた手続きは応募者が行う必要があります。

【応募資格】

- 公募内容に関する、技術・製品・サービス等を有する企業、団体、個人、またはグループ。
- グループの構成員は同一の企業、事業所、部署等に所属している必要はありません。
- 応募者（グループ等の構成員を含む）及び応募者が属する企業は、日本国に国籍を有するもの及び日本国に登録されている法人とする。
- 補助者や看板の配置などの立入管理措置をせずに、移動中の車両、列車又は船舶の上空を通過する場合を含む道路、鉄道又は船舶航路を一時的に横断する飛行（レベル3. 5 飛行）を行うための要件に適合すること。

【応募方法】

○応募書類等

○応募書類一式は、本公募の記者発表ページ

(https://www.cbr.mlit.go.jp/construction/pdf/koubo_20240130.zip)

よりダウンロードをお願いします。

○応募書類の提出

応募書類は、cbr-gikanmado@mlit.go.jp までメールで送付ください。

※件名を「ダム管理施設・砂防施設における採用テストの公募(応募者名)」としてください。

※添付ファイルは、1メールあたり10MB以下としてください。

※意見交換会開催にあたり「ダム管理施設・砂防施設における採用テストの公募」

意見交換会申請書 様式-4を令和6年2月13日(火)までに cbr-gikanmado@mlit.go.jp 宛にメール送信ください。

別途日時を調整させていただきます。意見交換会開催は基本web開催を考えております。

【留意事項】

- 応募者は、応募内容に係る知的財産権その他第三者の権利を侵害しないように注意し、必要がある場合にはご自身の責任において適切に権利を利用するようにしてください。
- 本テストにおいて、応募者が他の当事者に直接的かつ現実生じた損害を与えたときは、その損害を賠償することとします。
- 応募者が、暴力団、暴力団員、暴力団関係者、その他の反社会的勢力(以下、総称して「反社会的勢力等」という)である場合、またはこれと密接な交際のある場合、当該の応募は無効とします。
- 応募書類は参加者の特定のためにのみ利用し、公表はしません。また、提出された応募書類については、当該応募者に無断で二次的に使用することはしません。なお、応募書類については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」(平成十一年法律第四十二号)に基づく行政機関が取得した文書となるため開示請求者からの開示請求があった場合は、当該企業等の権利や競争上の地位等を害するおそれがないものについては、開示対象となる場合がありますので、予めご了承ください。
- 応募書類の作成、提出に関する費用、採用テストを実施する費用(関係官署への手続き含)は応募者の負担とします。
(提出された応募書類の内容について問い合わせを行う場合があります。)
- 応募資格を有し、応募書類(意見交換会申請書 様式-4)の提出された応募予定者に対して、採用テスト実施によるリクワイヤメントについて応募期間中に意見交換会を行います。
意見交換会については、別途調整いたします。
- 公募の結果採用テストの参加者として決定した旨、事務局より電子メールで通知します。
なお、結果に関する問い合わせには応じませんので、予めご了承ください。

【要求する技術仕様】

(ドローン本体)

- ・マルチコプター型であることを想定
- ・機体は「無人航空機の飛行に関する許可・承認の審査要領」(カテゴリーⅡ行)(国空無機第214607号)に定める機体の要件に適合すること。
- ・レベル3.5飛行に必要なカメラ等を搭載・運用した状況で指定した飛行コース・確認ポイントについて連続飛行ができること
- ・LTE等の電波不感地帯であってもレベル3.5飛行が可能であること
- ・IMU/GNSS等により自動自律飛行が可能であること
- ・当該無人航空機の飛行情報について、国土交通省の許可を得ていないものによる当該情報の取得を適切に防止できること
- ・RTKなどを利用して正確な位置への着陸が可能であること。
- ・入手が容易な燃料を使用できること
- ・FPV(First Person View)に対応したカメラが搭載されていること
- ・リモートIDが装備されていること
- ・主要なパーツ(フレームやエンジン・モーターおよびドローン(航行)制御システム)が国内で設計・製造されたものであること

- ・ 不必要に騒音を発生するなどの他人に迷惑を及ぼすような方法で飛行させないこと
- ・ エンジンが止まっても安全に着陸させることができること
- ・ エンジンが止まってもエンジンの再起動が可能であること
- ・ 人工衛星等を活用したコントロールが可能であること

(フライトコントローラ)

- ・ フライトコントローラはセキュリティリスクやサプライチェーンリスクをクリア出来るものとし、オープンソースなどの汎用性の高いものが採用されること
- ・ 操作系機器(プロポーショナルシステムなど)に機体やエンジンの状態など、必要な情報がわかりやすく表示されること
- ・ 操作系機器(プロポーショナルシステムなど)にF P V画像が表示されること
- ・ 操作系機器(プロポーショナルシステムなど)の通信が途切れた場合でも他の手段で各情報やF P V画像が確認できること
- ・ 操作系機器(プロポーショナルシステムなど)以外で遠隔地から各種情報や画像の確認ができること

(搭載機器)

- ・ 撮影された動画と対比できる飛行軌跡(飛行ログ)が記録できること
- ・ 撮影された静止画には高精度な位置情報が付加されること

(その他)

- ・採用実験の実施日に当該ドローンの操縦士(二等操縦士以上、目視外限定変更)を現地に派遣できること
- ・採用実験での飛行に必要な諸手続きができること
- ・採用実験について複数回の実験に参加可能であること

【スケジュール】

令和6年1月30日(火) 公募開始

令和6年2月13日(火) 意見交換会申請書提出期限

令和6年2月14日(水)～22日(木)

意見交換会(採用テスト実施によるリクワイヤメントについて)

※意見交換会対象者:公募資格を有した応募予定者

令和6年3月8日(金) 公募締切

令和6年3月18日～22日(金)

公募結果の審査、実験機体の選定

令和6年5月【予定】 第1回目採用テスト

(テストは春～秋において複数回実施)